

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成30年6月14日 (2018.6.14)

【公開番号】特開2017-207098(P2017-207098A)

【公開日】平成29年11月24日 (2017.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2017-045

【出願番号】特願2016-98173(P2016-98173)

【国際特許分類】

*F 1 6 H 48/38 (2012.01)*

*F 1 6 H 48/08 (2006.01)*

*F 1 6 C 17/08 (2006.01)*

【F I】

F 1 6 H 48/38

F 1 6 H 48/08

F 1 6 C 17/08

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月23日 (2018.4.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 5】

第 2 実施形態では、第 1 実施形態のデフケース 1 0 の支持面 1 1 と、ピニオンギヤ 2 0 の背面 2 1 (即ち凸曲面 *f*) との間に、支持面 1 1 の側に凸に湾曲した球面板状に形成されて弾性変形可能な環状のスラストワッシャ 4 0 が介装される。スラストワッシャ 4 0 の、支持面 1 1 に対向する外側面 4 0 a は、第 2 軸線 X 2 を全部含む横断面 (図 3 参照) で見て支持面 1 1 の曲率半径 *R* 1 よりも大きい曲率半径 *R* 4 の凸状球面で形成される。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 5】

また、サイドギヤ 3 0 の背面 3 1 (即ち凸曲面 *f*) と支持面 1 1 との間には、必要に応じて、上記スラストワッシャ 4 0 と同様の形状・構成のスラストワッシャ (図示せず) が介装される。その場合には、上述したピニオンギヤ 2 0 の背面 2 1 の凸曲面 *f* とスラストワッシャ 4 0 の特設に基づく作用効果と同等の作用効果が、サイドギヤ 3 0 の背面支持構造においても達成可能である。